

2023年11月24日

各位

愛媛銀行

愛媛 PPP/PFI 地域プラットフォーム

第2回 サウンディング型市場調査を開催します

当行（頭取 西川 義教）、愛媛県（知事 中村 時広）および株式会社伊予銀行（頭取 三好 賢治）は、愛媛県内におけるPPP^{*1}/PFI^{*2}等官民連携事業を推進するため、2022年 3月に「愛媛PPP/PFI地域プラットフォーム」を設立しました。

今回は、愛媛県内の地方公共団体から提案のあった3つの案件を対象とし、地方公共団体と民間企業が意見交換等を行う「サウンディング型市場調査（オープン型官民対話）」を開催いたしますので、お知らせいたします。

※1 PPP：地方公共団体と民間事業者が連携して公共サービスの提供等を行うこと。

※2 PFI：公共施設等の設計、建設、維持管理、運営に民間の資金やノウハウを活用して行う公共事業の手法のこと。

記

○第2回サウンディング型市場調査（オープン型官民対話）※詳細はチラシをご参照ください

- (1) 名称 第2回サウンディング型市場調査（オープン型官民対話）
- (2) 日程 2023年12月14日（木） 13：30～16：50（受付開始13:00～）
- (3) 形式 現地会場とWEB会議システム（Zoom）を利用したハイブリッド形式
- (4) 会場 愛媛銀行研修所（愛媛県松山市南持田町27-1）
- (5) 対象者 地方公共団体職員、民間事業者等
- (6) 定員 現地定員：50名程度、WEB定員：150名程度（いずれも先着順）
- (7) 参加料 無料
- (8) 内容 案件① 伊予市「（仮称）栗の里公園有効活用事業」
説明：伊予市 産業建設部 商工観光課
案件② 松前町「（仮称）町営住宅再編整備事業」
説明：松前町 産業建設部 まちづくり課
案件③ 今治市「（仮称）今治版初ボラ拠点施設整備事業」
説明：今治市 こども未来部こども未来政策局 初ボラ政策課
- (9) 申込方法 チラシに記載する URL もしくは二次元QRコードより申込みをお願いします。
（申込期限は2023年12月5日（火）17:00迄）

以上



変革への挑戦 2nd stage

～地域再起動のプラットフォームへ～

【お問い合わせ先】 愛媛銀行 企画広報部 TEL 089(933)1111

愛媛銀行

2023年度 愛媛PPP/PFI地域プラットフォーム 第2回 サウンディング型市場調査

参加無料

愛媛県・伊予銀行・愛媛銀行は、昨年度「愛媛PPP/PFI地域プラットフォーム」を立ち上げ、セミナー及び官民対話を開催しました。今年度においても、引き続き、愛媛県内のさらなる機運醸成を図り、PPP/PFI事業を推進するため、官民対話（サウンディング）やセミナーを開催していきます。

今年度第2回目開催となる今回は、3つの事業の官民対話を実施します。PPP/PFI事業を官・民協働で創出すべく、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

■日時

2023年12月14日（木） 13:30～16:50

※13:00～受付開始予定

■対象者

地方公共団体職員、民間事業者 等

**定員：(現地) 50名程度
(WEB)150名程度**

■開催方法

現地及びWEB会議システム（zoom）による開催

【現地会場】愛媛銀行研修所（愛媛県松山市南持田町27-1）

13:30～16:50 官民対話

■ 13:30～14:30 官民対話①

伊予市 「（仮称）栗の里公園有効活用事業」

■ 14:40～15:40 官民対話②

松前町 「（仮称）町営住宅再編整備事業」

■ 15:50～16:50 官民対話③

今治市 「（仮称）今治版ネウボラ拠点施設整備事業」

■参加申込方法

URLもしくは二次元バーコードからお申込み下さい。

<https://forms.office.com/r/15AtSUs839>

※申込期限は **12月5日（火）17時**です。 ※お申込みできない場合は、事務局へご連絡下さい。

※ご提供いただく個人情報などは本プラットフォームにおける情報共有の範囲内で使用し、ご本人の承諾がない限り、その利用目的以外に使用することはありません。

<お問合せ先>

申込用二次元バーコード

【事務局】愛媛銀行 公務ふるさと振興部 担当：小山、金子

OTEL：089-933-1111 ○メールアドレス：koumu@himegin.co.jp

【プラットフォーム開催に関するお問合せ先】株式会社YMFG ZONEプランニング 担当：池田、小原

OTEL：080-7417-4577(池田)、○メールアドレス：s.ikeda@ymfg.ym-zop.co.jp



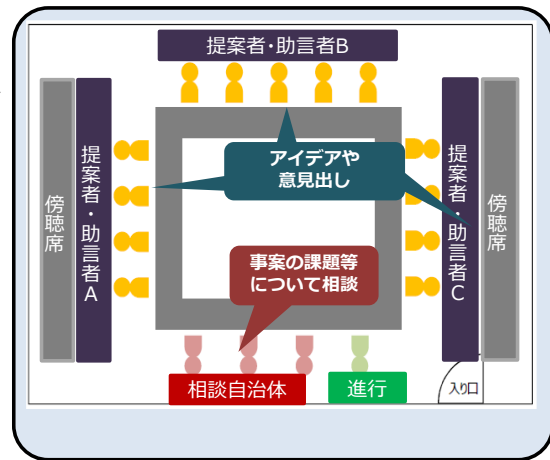
官民対話（サウンディング）の実施イメージ

官民対話 進め方

■官民対話（サウンディング）とは、地方公共団体が民間事業者との意見交換等を通じ、事業に対して様々なアイデアや意見を把握する調査です。市場性の有無や実現可能性の把握、行政だけでは気づきにくい課題の把握といった効果が期待できます。

- ① 参加者は、「相談地方公共団体」、「提案者・助言者（地方公共団体、民間事業者等）」、「傍聴者」となります。
- ② 傍聴席を設け、傍聴者は自由にブースの出入りができます。
- ③ 相談地方公共団体から事業概要等の説明後に、提案者・助言者から自由にアイデア出し等を行います。

オープン型



官民対話 テーマ

今回は、以下のテーマについて官民対話を実施します。

相談 地方公共団体	テーマ
	概要
伊予市	「（仮称）栗の里公園有効活用事業」
	平成6年に市民へ憩いの場を提供し、市民の交流を深めることを目的に設置された「なかやま栗の里公園」の利用実績は年に数件程度であり施設を有効に活用できていない。このことから、当公園の敷地の一部を有効に活用することで、地域の賑わいの創出や地域経済の活性化を図りたい。
松前町	「（仮称）町営住宅再編整備事業」
	(1) 町営住宅の建替（町内に11ある全ての町営住宅を5つに集約建替）、(2) 民間賃貸住宅の活用、(3) 余剰地等の利活用、(4) 再編整備による施設の維持管理・運営等について、民間活力の導入を検討したい。
今治市	「（仮称）今治版ネウボラ拠点施設整備事業」
	市内中心部に点在している子育て関連施設（子育て世代活動支援センター・保健センター・児童センター・地域交流センター(カフェ等の民間テナント含む)）を集約し、子どもの成長や発達の過程に応じたきめ細かな支援をワンストップで行い、子育て世代や中高生が気兼ねなく訪れる場所として、「（仮称）今治版ネウボラ拠点施設」を整備する。

本プラットフォームに関するご質問等は、表面に記載の問合せ先までお気軽にお問い合わせください。